土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	BO-4	**調査位置**	広島県広島市安佐北区大林町			**北緯**	34° 34′ 16.1318″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2022年 3月 25日 ～ 2022年 3月 31日	**東経**	132° 33′ 46.2408″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 139.96m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	6.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦地下工機　D-0B		
				エンジン	ヤンマー　NFAD8	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
				礫混じり砂		茶灰 褐灰	rdl		盛土 径が2mm～2.5cmの角礫を主体とする。 表層10cmは腐葉土。	03/31 1.11 04/01 1.89
	137.66	2.30		花崗岩		淡白			軟岩I（CL級） コアは短柱状～片状コアとして採取される。 コアはハンマー軽打で崩れる。	
	136.61	3.35		花崗岩					軟岩II（CM級主体） コアは短柱状コアとして採取され、コア肌滑らかで、岩片も硬質である。 深度4.35m～4.45mの間、傾斜60°の割れ目が1cm間隔で層状に入りCL級。CL級部は、岩組織を残すがハンマー軽打で礫状に崩れる。	
	133.96	6.00								

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	1	2	2	5/300		
	1.45						
19	2.15	2	6	11	19/300		
	2.45	50/20			50/20	20	
750	3.00						
	3.02						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					3/30
					3/31